

第84回 全国産業安全衛生大会 分科会(9月11日～12日) 講演・特別報告・シンポジウム等一覧(大阪・近畿ブロック分)

分科会名	区分	演題・講演者・講演時間等	概要	P
安全管理活動①	特別報告	働き方改革に積極的に取り組むベストプラクティス企業と考える 大阪労働局 労働基準部監督課 監督課長 嘉副 崇夫 三和建設(株) 執行役員 大阪本店長 川口 秀夫 【30分】	過重労働による健康障害の防止は全産業に共通する重要なテーマであるが、業界ごとに実情や課題は異なる。建設業でこの分野に積極的に取り組み、昨年度ベストプラクティス企業として厚生労働省大阪労働局長が意見交換した企業と、長時間労働抑制に当たっての課題等について考える。	8
安全管理活動①	講演	巨大災害に立ち向かう ～我が事にする、我々事にする～ 関西大学 社会安全学部 教授 近藤 誠司 【60分】	自然災害が頻発し、首都直下地震・南海トラフ地震の発生が懸念されるなかで、防災・減災を推進することは、もはや避けて通ることができない喫緊の課題となっている。災害情報の落とし穴にはまることなく、持続的・発展的な取り組みを為している現場の知恵や工夫を共有しよう。	8
安全管理活動①	特別報告	令和7年度日本化学工業協会 安全最優秀賞事業所 株式会社レゾナック 龍野事業所 <演題調整中> 【30分】	<調整中>	8
安全管理活動②	特別報告	Daigasグループのセイフティ3(高齢者・熱中症・DX) 大阪ガス(株) 人事部安全健康推進チーム マネジャー 宮村 昭彦 【30分】	Daigasグループ(大阪ガスおよび関係会社)では昨今、①高齢者対応②熱中症対策③DXの活用の3つの重要な命題を抱えている。今年度、それぞれに対応する施策を「セイフティ3」と銘打ち、取り組んでいる内容をご紹介します。	8
安全管理活動②	特別報告	「大阪発・新4S運動」の推進 ～「安全」は人々を満足にさせ、輝く笑顔にします～ 大阪労働局 労働基準部安全課 安全課長 三輪 和生 (株)竹中工務店 大阪本店 総括作業所長 川嶋 宏和 ダイキン工業(株) 堺製作所 安全衛生事務局 原口 雅典 【50分】	厚生労働省大阪労働局では、労使一体となった自主的安全衛生活動の促進に向け、令和5年度から「大阪発・新4S運動」を提唱している。安全見える化活動、安全Study活動など4つの活動からなるこの運動について、提唱に賛同し取組を開始した企業2社での実例を交えて報告する。	8
安全管理活動②	特別報告	遊ぼう！創造の枠を超えて！ 「シン・阪神競馬場」～Enjoyお客様エリア大改修～ (株)大林組 大阪本店 阪神競馬場工事事務所 所長 谷口 慎二 【30分】	プロジェクト期間の2024年には難題が3つあった。①大阪万博などの大型先行工事による作業員不足、②慢性的な建設業施工管理技術者不足、③時間外労働時間上限規制適用。この逆風のなか、「『選ばれる所長』にならないと、人も信望も集まらない」の信念で、種々の方策を実践した。	8
安全管理活動②	特別報告	大阪・関西万博 太陽の塔から世界最大の大屋根リングへ ～歴史に刻む120社共闘～ (株)大林組 執行役員 大阪本店建築事業部副事業部長(生産担当) 兼 大阪本店夢洲総合工事事務所 総括所長 高木 昌紀 【30分】	シンボルは世界最大の木造建築・大屋根リングの2025年大阪・関西万博。シンボル・太陽の塔、お祭り広場の1970年大阪万博から55年の時を超え引きつがれる。新建設はインフラ未整備の離島の地で、120を超える建設会社によりリングでつながる街づくりに挑戦した。	8
安全管理活動②	特別報告	空港施設の維持管理における事故・労働災害防止活動について 関西エアポートテクニカルサービス(株) 安全・研修センター センター長 松下 徹 【30分】	関西国際空港および大阪国際空港の旅客ターミナルビルおよび滑走路等の重要インフラの維持管理を担う弊社は、無事故・無災害を目標に定め、安全を最優先に業務に取り組んでいる。今回の発表では、弊社における事故・労働災害防止活動について報告する。	8
安全衛生教育	特別報告	関西電力グループにおける安全文化構築・継承のための安全活動について 関西電力(株) 人財・安全推進室 安全推進グループ チーフマネジャー 田中 亜紀 【30分】	関西電力グループでは安全を全ての事業活動の根幹と位置づけ「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」との社長宣言のもと、一丸となって安全活動に取り組んでいる。ゆるぎない安全文化構築・継承のため実施している意識醸成活動や安全教育活動を紹介する。	8

第84回 全国産業安全衛生大会 分科会(9月11日～12日) 講演・特別報告・シンポジウム等一覧(大阪・近畿ブロック分)

分科会名	区分	演題・講演者・講演時間等	概要	P
安全衛生教育	講演	【60分】 今、安全の現場に求められるリーダーシップとは？ 帝塚山学院大学 総合心理学部 准教授 秋保 亮太	安全の現場では、不安全行動の改善・防止策がこれまで様々検討されてきた。しかし、効果的なリーダーシップについては理解が進んでいるとは言い難い。本講演では、安全の現場に求められるリーダーシップに関する一連の研究を紹介しつつ、そこから得られる示唆について考察を行う。	8
安全衛生教育	講演	【60分】 緊急事態に対する事前の対処法を考えよう ～ヒューマンエラー防止のコツとは～ 追手門学院大学 経営学部 経営学科 ビジネス心理専攻 准教授 上田 真由子	緊急時の焦りや慌てによるミスは誰にでも起こりうるものである。本講演では、こうした緊急事態でのヒューマンエラーを減らすための事前の対処について、研究結果をもとに分かりやすく解説する。基本的なヒューマンエラーの知識も身につけられる内容とする。	8
DX	講演	【60分】 フジテックのDX戦略 ～全ては安全・安心のために フジテック㈱ 専務執行役員 デジタルイノベーション本部長 友岡 賢二	DX戦略の立案には、まず事業目的(Why)、顧客(Who)、事業戦略(What)を深く理解し、その実現をするための道具としてデジタルをどのように使うか(How)を考える必要がある。フジテックのDX戦略立案に至るストーリーの中で「安全・安心」がどのように位置づけられ、その結果どのような成果を導き出したのかについて解説する。	9
化学物質管理活動	シンポジウム・基調講演	【120分】 化学物質の自律的管理を推進する 基調講演「胆管がん問題を教訓にした弊社の取り組み」 ㈱SANYO-CYP 代表取締役社長 兼 CEO 山村 健司 パネルディスカッション 【座長】 中央労働災害防止協会 近畿・大阪安全衛生総合サービスセンター 技術顧問 圓藤 吟史 【コメンテーター】 ㈱SANYO-CYP 代表取締役社長 兼 CEO 山村 健司	胆管がん問題を教訓に、当該企業は“従業員と家族の健康を守り、会社も成長していきたい”を目標に活動してきた。業種は異なるが、二社は化学物質の自律的管理に取り組んでいる。それらの活動を紹介するとともに、危険・有害性リスクを“見える化”するツールを紹介する。 【パネリスト】 旭化成㈱ 延岡支社 環境安全部 主査、IOHA認証日測協認定オキュペイショナルハイジニスト 濱田 泰将 日東電工㈱ 基盤機能材事業部門 管理統括本部 環境安全部 企画課 夏井 正頼 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 副所長 竹内 靖人	9
化学物質管理活動	特別報告	【30分】 化学物質の危険有害性に対応したリスクマネジメント 中央労働災害防止協会 近畿・大阪安全衛生総合サービスセンター 技術顧問 圓藤 吟史	“法定非該当物質は安全な物質”という理解は間違っているので、法改正で事業者にはリスクアセスメントを義務づけ、規則と通達で誘導した。その結果、“規則と通達に従えば安全”との誤解が生じている。ここでは、危険有害性に対応した実践的な自律的マネジメント方策を紹介する。	9
労働衛生管理活動	特別報告	【30分】 産業保健スタッフと安全衛生・人事労務スタッフの効果的な役割分担のTips ㈱カネカ 大阪工場 健康相談室 産業医 伊藤 正人	就業措置や休復職判断において、産業医等の産業保健スタッフと安全衛生・人事労務スタッフが一定のスタンスで役割分担し、緊密に連携することが極めて重要である。労働者を「適正な働き姿」へ導くため、決して教科書に記載されていないTipsについて講演する。	9
労働衛生管理活動	特別報告	【50分】 がんと治療の両立支援に向けた働き続けやすい職場作りのポイント (独)労働者健康安全機構 大阪産業保健総合支援センター 副所長 立岩 範彦 興國車輛㈱ 代表取締役社長 禿 裕隆 ㈱トラストチャーム 代表 藤吉 奈央子	就労年齢が上昇する昨今、働く仲間ががんを罹患する事は以前ほど珍しくない。がんになっても働ける環境を企業が創造し提供する事は、がんはもちろん、他の病気や、介護など制約が発生した際にも共通して活かせる。事例と共にポイントを紹介する。	9

第84回 全国産業安全衛生大会 分科会(9月11日～12日) 講演・特別報告・シンポジウム等一覧(大阪・近畿ブロック分)

分科会名	区分	演題・講演者・講演時間等	概要	P
労働衛生管理活動	パネルディスカッション	手袋の使用可能時間を透過試験で確認しよう ～化学防護手袋研究会の活動紹介～ 【60分】 化成品工業会 技術部 技術部長 上村 達也 オリンパスメディカルシステムズ(株) 八王子事業場 技術開発センター 宇津木 生物学評価解析技術 安全衛生・環境法規制担当 福岡 荘尚 (学)東京理科大学 環境安全センター 技師 宮田 昌浩 (株)日本触媒 姫路製造所 環境安全部 環境安全課 主任部員 右田 雄作	化学防護手袋研究会は化学防護手袋の簡易透過試験により事業者が自ら透過開始時間を確認し適切に手袋を選択、使用する活動を支援している。特別報告では各講演者からケミカルセンサーや検知管等を用いた測定事例を紹介すると共に研究会の支援活動についても説明し理解いただく。	9
メンタルヘルス・健康づくり・健康経営	講演	この生き方に決めた！ ～阪神・淡路大震災が決めた落語家への道 落語家 桂 福丸 【60分】	高校時代に被災した阪神淡路大震災の現場で起こったこと、また極限状態で感じた思いが今の生き方に繋がっていることを語る。また、厳しい環境にいる際は笑いとユーモアによって心を健康に保つことが一番重要であるということも感じていただく。	9
メンタルヘルス・健康づくり・健康経営	講演	メンタルヘルスと「生きた法」 ～基本的な対応モデルと3つの注目すべき判例～ 近畿大学 法学部 教授 三柴 丈典 【60分】	演者が開発してきた「生きた産業保健法」は、法律を形式的に捉えてただ強制するのではなく、人間や組織という生きものの相手に、その趣旨の実現図ろうとする力学だと理解する。この視点で、基本的な対応モデルと最近の重要な3つの裁判例の示唆を汲む。	9
メンタルヘルス・健康づくり・健康経営	特別報告	メンタルヘルス不調の未然防止について 「待つ」から「動く」相談窓口設立・その活動 (株)竹中工務店 大阪本店 WLB・ダイバーシティ推進担当 京谷 紀子 【30分】	メンタルヘルス未然防止のため、相談を「待つ」だけでなく「動く」相談窓口を設立。積極的に職場に出向く等のアウトリーチ活動に注力し、独りで悩みを抱え込まず、気軽に相談できる環境整備を進めている。早期発見・早期対応を目指し、心の健康を護る活動の具体的内容を紹介する。	10
ゼロ災運動	講演	行動を変える心理学 大阪医科薬科大学 看護学部 教授 飛田 伊都子 【60分】	この講演では、行動分析学という心理学を紹介し、産業現場における安全行動を促進するための活用方法について解説する。実際の事例を交えながら、分かりやすく説明することで、人の行動を変える意外な方法を知っていただく。この講演を通じて、今後の行動の見方が大きく変わることだろう。	10
安全管理活動③	特別報告	安全づくりは人づくり ～心のキャッチボールで人材育成 (株)レールソリューションズ 代表取締役社長 竹内 千里 【30分】	小規模企業である我が社には、働くことに悩み、コミュニケーションに課題を抱える若者たちがやってくる。自信を持てなかった彼らが、「日本一の安全」を合言葉に、チームでの声掛け、助け合い、励まし合いを通じて、列車見張員として成長していく姿を紹介する。	10